

# タスクフォースの検討状況と今後の方針

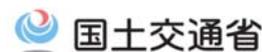
## ～船舶設計・船舶運航・代替燃料の各方面からの検討～

平成30年10月  
事務局



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

## 1. タスクフォースの設置



### 第1回国際海運GHGゼロエミッションプロジェクト会合(8月8日開催)

- ハード(船舶設計)、ソフト(船舶運航)、代替燃料に関するタスクフォースを設置し、それらを有機的に連携させることが決定された。

- **船舶設計タスクフォース**: 新造船燃費規制の更なる強化についての検討。  
※新造船燃費規制の技術的検討は(一財)日本船舶技術研究協会の船舶省エネ性能向上プロジェクトにおいて検討が行われていることを踏まえ、同プロジェクトと適宜連携する。
- **船舶運航タスクフォース**: 我が国として有効と考える短期対策案(実効性・即効性の高い運航効率改善策)の検討(年内目途取りまとめ)、「効率」の定義の検討。  
※経済的手法については、(公財)日本海事センターに設置されている環境問題委員会において検討が行われていることを踏まえ、同委員会と適宜連携する。
- **代替燃料タスクフォース**: 各種代替燃料の実現可能性、課題、導入スケジュールについての検討。現状の技術や主要国の政策の現状についての基礎的な情報収集。

### 船舶設計タスクフォース

- MEPC 73に向け、EEDIフェーズ3に関する我が国の方針を以下の通り整理した。
  - コンテナ船の開始年は2022年に前倒し。大型コンテナ船の規制値はΔ40%に強化。
  - バルカー・タンカーの開始年は2025年を維持。大型バルカー・タンカーは基準値を修正。
  - その他の船種は、2025年開始、規制値Δ30%を維持。
- 大型バルカー・タンカーの基準値修正がMEPCで採用されなかった場合は、新造船の小型化やそれに伴うCO2の増加、LNG燃料転換が必要となることについて、IMOにおいて認識の共有を図る（MEPCのレポートに記載させる）こととした。
- 非常用出力について、フェーズ3適合が困難な船舶の技術オプションとして否定せず、今後の対応を検討することとした。また、不正防止対策を引き続き検討することとした。
- フェーズ4以降のEEDI規制に関して、更なる検討を行うこととした。

### 船舶運航タスクフォース

- GHG削減戦略に盛り込まれている対策候補及び各国が検討中の各種対策案について、我が国としての基本的なポジションを整理した。
- 我が国として打ち出す短期対策案として、省エネ船を差別化しつつ、省エネ性能の低い現存船により減速運航を行わせるような制度的枠組みを年内に取りまとめ、来年5月のMEPC 74に提案することとした。
- 「運航効率」の定義として、DWTベースの効率指標AERを採用することとして国際合意を得るべく、MEPC 74に提案することとした。

### 代替燃料タスクフォース

- 船舶の低・脱炭素化について、今年度情報収集すべき事項を整理した。
- 燃料のライフサイクルでの排出量について、今後、UNFCCCや他セクター（ICAO等）の状況も踏まえて検討する必要があることを確認し、これらの動向についても、今後、情報収集を行うこととした。
- 我が国で今後開発され得る代替燃料等技術について、第1回プロジェクト会合で日本造船工業会から紹介された船上炭素回収やCO2再燃料化等の技術コンセプトについて、今後、実現に向けた課題等を洗い出すためのフィージビリティ調査を実施することとした。

5

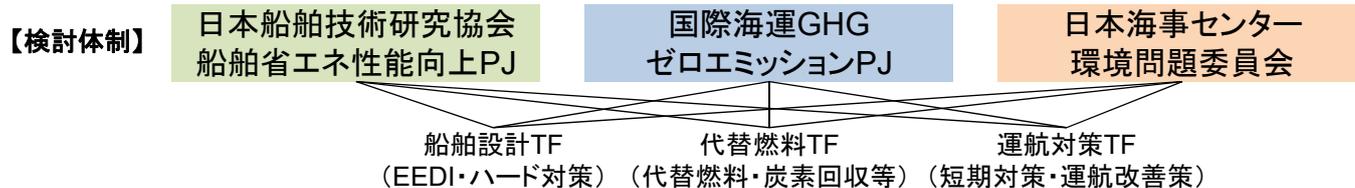
## 3. 本年度のスケジュール(案)

- 各TFにおいて検討を進め、次回の国際海運GHGゼロエミッションPJ会合（本年12月頃を予定）に検討状況を報告する。
- 特に、MEPC 74に提案を予定している事項（短期対策案、運航効率の定義）については、当該会合に我が国としての方針案を取りまとめて報告する。

（別紙参照）

6





## 2018年

- |     |                          |  |
|-----|--------------------------|--|
| 8月  | 第1回GHGゼロエミッションPJ会合(8/8)  | 立上げ・各TF設置                                  |
|     | 設計TF(9/11)               |  |
|     | 燃料TF(9/6)                |  |
| 9月  | 運航TF(8/23, 8/30, 9/14)   |  |
|     | 船技協・船舶省エネ性能向上PJ(9/25)    | EEDIフェーズ3方針を決定                             |
| 10月 | 第2回GHGゼロエミッションPJ会合(10/4) | MEPC 73 対応方針を決定                            |
|     | 海事センター・環境問題委員会(10/12)    | MBM検討方針を決定                                 |
| 11月 | ISWG 4 (10/15-19)        | MEPC 73 (10/22-26)                         |
|     | 設計TF                     |  |
|     | 燃料TF                     | ※必要に応じてそれぞれ2~3回程度実施。                       |
|     | 運航TF                     |  |
| 12月 | 第3回GHGゼロエミッションPJ会合(12月頃) | MEPC 74に提案する短期対策案を決定<br>低炭素技術に関する検討状況を中間報告 |

## 2019年

- |    |                           |                                    |
|----|---------------------------|------------------------------------|
|    | 設計TF                      |                                    |
| 1月 | 燃料TF                      | ※必要に応じてそれぞれ2~3回程度実施。               |
|    | 運航TF                      |                                    |
| 2月 | (提案文書作成・各省協議等)            |                                    |
|    | MEPC 74 提案文書〆切(7枚以上:2月中旬) |                                    |
| 3月 | MEPC 74 提案文書〆切(6枚以下:3月中旬) |                                    |
|    | 第4回GHGゼロエミッションPJ会合(3月頃)   | MEPC 74対応方針を決定<br>低炭素技術に関する検討状況を報告 |
| 4月 |                           |                                    |
| 5月 | MEPC 74 (5/13-17)         |                                    |